

がんゲノム医療の流れ（他院の主治医向け）

～遺伝子パネル検査（Guardant360®CDxがん遺伝子パネル）～

【ご注意ください】

Guardant360®CDxは「腫瘍組織の検体がない、あるいは検体の準備が難しい患者さん」又は「固形腫瘍の腫瘍細胞を検体として実施したがんゲノムプロファイリング検査において、包括的なゲノムプロファイルの結果を得られなかった患者さん」に限られており、腫瘍組織での検査が優先されますので、まずは、当院のがんゲノム医療担当医にご相談ください。

STEP 1

当院の該当診療科のがんゲノム医療担当医に直接ご相談ください。
患者さんが、遺伝子パネル検査の適応になるか、組織で検査が可能かなどの相談をさせていただきます。

STEP 2

【リキッドでの検査が可能となった場合】
外来日（検査説明日）を調整させていただきます。
外来受診日より前に以下の書類をご相談いただいた該当診療科に郵送してください。
（書類等に不備があると検査ができない可能性があります。）

- ① 診療情報提供書
- ② C-CAT登録記入用紙（がんゲノム情報管理センター登録データ）
- ③ 家系図

STEP 3

当院がんゲノム担当医より、患者さんに遺伝子パネル検査の詳細な説明を実施します。
検査を受けられる場合は、同意書にご署名をいただきます。

STEP 4

外来日（採血日）を調整させていただきます。

STEP 5

C-CATへの登録後、採血に必要な資材を準備いたします。

STEP 6

2
か
月
程
度

指定日（外来日）に、受付後、該当診療科で必要な資材等を受け取ってから、検査部で採血を行います。

STEP 7

当院から検査機関へ検査依頼をいたします。※解析不良となる場合があります。

STEP 8

検査機関から解析結果が返送されます。
解析結果はC-CATに提出します。C-CATは検査データや診療情報に基づき、治療に役立つ情報を「C-CAT調査結果」として、エキスパートパネル（専門家によるカンファレンス）に送付します。
※当院は中核拠点病院（岡山大学病院）に依頼し、エキスパートパネルを行います。

STEP 9

エキスパートパネルにおいて解析結果、推奨される治療法等について検討します。

STEP 10

エキスパートパネルレポートに基づき、がん遺伝子解析の結果説明と推奨される治療法を提案いたします。
※検査結果によっては、推奨される治療法がない場合がございます。
※C-CAT調査結果、エキスパートパネルレポートは患者さんへお渡しすることを想定したものではありません。

STEP 11

当院での結果説明をもとに、紹介元である主治医の先生方と治療方針を決定いただきます。
※検査後の治療は、現在治療を行っている主治医の判断となります。

上記の所要時間は当院の平均時間であり、あくまでも目安です